



横浜市立榎が丘小学校

～豊かにかかわり合い、しっかり学ぶ、心身ともに健やかなえのきの子～

TEL 045(983)1067 FAX 045(983)5284

HPアドレス <http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/enokigaoka/>



また明日

校長 仲川 美世子

ようやく緊急事態宣言が解除されようとしています。かくなる上は再び発令されることのないように私たち一人ひとりの日ごろの行いが大切になってくるのかもしれませんが、とにかく少しずつ「日常」を取り戻していけるのではないかと期待を持ってしまいます。特に横浜の子どもたちは「分散登校」ということで一日おきの登校（先日の祝日が続いたときは複雑でしたが…）から毎日登校するようになる「日常」への回帰となり、学校も永い眠りから覚め、本格再起動することになります。

しかし、何もかもが昔のようにはいかないのは周知のこと。特に子どもたちが大勢集えば集うなりの注意事項は忘れてはなりません。今一度「安心・安全えの小スタイル」にそって、学校生活での過ごし方に気を付けていきたいと思えます。ほかの人に触れないこと、友達のものもさわらないこと、マスクをしていても距離をとることなど、人との間に一定の距離を置くことが必要になります。

けれども、大勢で過ごす環境で人との距離を取るのなかなか難しいことです。さらに、教育的な立場から考えると小学生時代に、大勢の友達とくみずほぐれつすることは意味のあることではないかとも思えます。心地よいと感じる物理的な距離感を身に付けることや複数で話すときの言葉のやり取りでは、どこまで主張するか、どこで引くかの微妙な駆け引き、様々な考え方に触れるということなども大勢集まる場でこそできることです。ですから、昔のように安心して友達と触れ合うことができる日が来ることを願ってやみません。

まだしばらくは辛抱の日々が続きますが、学校が学校としての役割を十分に果たすことができるように教職員も様々な方法を考えてまいります。今回配付された一人一台端末、iPadでは、分散登校の間にずいぶん慣れた児童も多いと思えます。見つけたもの、知らせたいものを写真に撮ったり、書いたものを写真に撮って送ったり、教師から出された課題をカードに書き込んで送ったり、手書きの子もいればキーボード入力にチャレンジしている子、音声入力の方法を覚えた子もいます。子どもの吸収力は目を見張るものがあります。操作に慣れるにしたがって、アイデアもいろいろ出てきているようです。クラスによってはもう半分のグループに対して動画を撮ってメッセージを送ることもしているようです。また、6年生では先日 Google meet を使って A グループ B グループそれぞれではありますが、学年全体がつながる体験をしました。ほかの教室にいるはずの友達の顔が画面に並ぶのは楽しいような恥ずかしいような、そんな風に受け止めているように見えました。毎日登校することができればクラスメートと画面上でつながる必要はないのですが、今後万が一学級閉鎖や臨時休校などが起こったときに、使えるツールの一つとして、教員も子どもたちにも経験が必要と考えてやってみたことです。結果、回線状況も問題なく、6年生の子どもたちは新しくログインする作業もスムーズに行うことができました。今後は密に交流することが難しい、他学年との交流において、この方法でつながることができるかもしれません。

直接近くで、ハイタッチするという挨拶はできませんが、今度から使えるようになる「また明日」という挨拶が、明るく元気に響く学校であり続けるよう、一層の努力をしております。地域の皆様、保護者の皆様におかれましては、これまで同様のご理解とご協力を、どうぞよろしくお願いいたします。